

問9 次の文章は、コロナ放電に関する記述である。

架空送電線路では裸電線が使われており、空気により絶縁されているが、空気の絶縁耐力には限界があるため、電線表面の電位の傾きがある程度以上になると、電線表面に光や音をともなう放電現象が生じ、様々な障害が発生する。この放電現象をコロナ放電という。コロナ放電は (ア) のときや気圧の (イ) ときに起こりやすい。

コロナ放電による障害には、コロナ損による送電効率の低下、高調波電流の発生、通信線への雑音障害などがある。対策としては、外径の (ウ) 電線を使用する、電線を (エ) するなどがあげられる。

上記の記述中の空白箇所(ア)～(エ)に当てはまる組合せとして、正しいものを次の(1)～(5)のうちから一つ選べ。

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
(1)	雨天	低い	大きい	多導体化
(2)	雨天	低い	小さい	多導体化
(3)	晴天	低い	小さい	単導体化
(4)	晴天	高い	大きい	多導体化
(5)	雨天	高い	小さい	単導体化